

日常使いしてもらえ、 料理が映える器を

瀬戸市は分業で発展したまち。やきものに関わっている人が周りにたくさんいたので身近に感じていました。染付の藍は窯屋さんによって本当に多彩。飽きがこなくて、どんな時代にも受け入れられてきたもの。陶器を使っただけの暮らしは心が豊かになると思います。料理が映えるような器をつくろうというつもっています。

染付作家(眞窯)

加藤真雪さん



MAYUKI KATO



REIKICHI KATO

加藤令吉さん

陶芸家(背戸窯)

瀬戸は歴史と伝統があるまち

平安時代からの施釉陶器がせともの原点。平安京や鎌倉幕府、南北朝、室町幕府など、国への献上品(国のトップに認められたもの)を作ってきたことは大きな誇りです。そんな歴史が背景にあるから、瀬戸でやきものをやっていると良かったと思います。窯神社や陶祖公園を陶工、陶芸家の聖地(メッカ)にして、せと陶祖まつりやせともの祭と融合できると面白いと思います。

居心地のよい商店街に

せと銀座通り商店街らしい応援をしようと思い、シャッターを活かして藤井聡太棋士の対局の実況を始めました。彼の活躍に合わせて、商店街が注目される機会も増え、訪れる方が将棋だけでなく商店街や瀬戸市を愛してくださることが励みになっています。ここで年齢や性別に関係なく、いろんな方の居場所づくりができればいいなと思っています。

セレクトショップ経営

地元棋士応援「シャッター大盤」

飯島加奈さん



KANA IIJUMA



YUSUKE MIZUNO

水野雄介さん

陶工(瀬戸本業窯)

使えば使うほど、器が育つ

瀬戸焼は、器を育てることを楽しんで欲しいです。瀬戸本業窯は250年以上続く窯元であり、昔ながらの分業制によって、ひとつひとつが職人による手仕事で成り立っています。また、洞の地域保全活動にも力を入れており、昔の窯跡の整備も行っています。かつては当たり前だった風景を後世へ残していきたいです。

人と人とのつながり

瀬戸は人と人とのつながり、市民一人一人の力が強いまちです。まちのため、周りの人のために何かできないかな、と思っている方が多いと思います。多様な人が受け入れられる、交流できる、発信できる、そんなまちをつくっていく一員でありたいです。

ラジオパーソナリティ

林ともみさん



TOMOMI HAYASHI



RYO OGATA

尾形亮さん

ご当地ヒーローでまちおこしの会

瀬戸すげーぞ、みてろよ

大好きな戦隊ヒーローに自分もなりたいたいという思いがきっかけで始まったご当地ヒーローの陶神オリバーですが、商店街に出入りするようになって、まちのいいところをもっと広めたいと思うようになりました。陶神オリバーを通して「俺たちのまちってすげーな」って子どもにも、大人にも我がまちを誇りに思ってもらいたいです。

作陶を通じた交流

全国各地で個展を開催し、様々な人と交流する機会を持っています。ものづくりのまち瀬戸の魅力を伝えると「瀬戸市ってすごい!」と言っていただけです。瀬戸市のものづくりは陶磁器だけではなく。様々なツクリテのものづくりを通して魅力を発信していけることが瀬戸市の強みです。

陶芸家

水野智路さん



TOMORO MIZUNO



MASANARI SUZUKI

鈴木政成さん

株式会社中外陶園

自分らしい生き方ができるまち

瀬戸市の今が厳しい時だとしても、それは千年前から今日までに何度も乗り越えてきたもの。これからの瀬戸に想いを馳せて、「時代に合った、新しい瀬戸」を仲間たちと作り上げていくことにワクワクしています。ものを持たないこれからの時代で、瀬戸は何ができるのか。瀬戸は自分らしい生き方ができる可能性を秘めたまちだと思います。

【陶都・瀬戸の魅力】

市民にとってはあたりまえ、でも外の人からみるとすごい。瀬戸は、「せともの」の由来となる、やきものまち。瀬戸に暮らす多くの人が、「ツクリテ」「ツカITE」「ツナギテ」として一緒にまちをつくっています。

ツクリテ × ツカITE × ツナギテ

長い歴史のなか「せともの」という言葉と瀬戸独自のまちなみをつくり出し、暮らし方も自由でクリエイティブなツクリテ。

そんなツクリテが身近にいることを誇り、自分らしいこだわりを持ちながら、穏やかな瀬戸のまちや自然、瀬戸焼を楽しむツカITE。

そんなツクリテとツカITEの接着剤になって、新しい人たちも気さくに受け入れ、瀬戸のいいモノやいいコトを発信するツナギテ。

ツクリテがいて、ツカITEがいて、ツナギテがいる。みんなの手で森をつくり、川を憩いの場として使い、その森や川のきらめきを次の世代につなぐ。

そして誰もがツクリテで、ツカITEで、ツナギテになる。丁寧な暮らしをつくり、家族との時間を大切に使い、古くて新しい瀬戸へとつながります。

Appeal of the Pottery Capital, Seto

What the city residents take for granted is unbelievable to non-city dwellers. The name "Setomono" is used to mean "pottery" which derives from the Seto area. Residents of the city are Creators, Users and Mediators creating spirits and souls of the city.

Creators × Users × Mediators

